

2026年6月期 第2四半期(中間期)

決算説明資料

前田工織株式会社

東証プライム:7821

目 次

1. 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算の概要	3
2. セグメント別決算概要	11
3. 2026年6月期 業績予想	17
4. M&A戦略	26
5. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン∞ -PART II-	33
6. 会社概要	40

1

2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算の概要

2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算の概要

- 中期経営計画「グローバルビジョン∞ -PARTⅡ-」(期間4年)の3年目の中間期で、**連結ベースの業績は順調に推移した。**
- ソーシャルインフラ事業のうち、公共事業関連の土木資材の業績は**第1四半期に引続き好調であった。**
- 子会社では、前期にグループ化した**前田工繊産資の業績が順調**である半面、釧路ハイミールは**販売単価下落の影響等**により前年同期の**実績を下回った。**
- インダストリーインフラ事業のうち、BBSの業績は前年同期比マイナスとなったが、**期初計画通りで推移した。**

決算ハイライト

過去最高

売上高

37,904 百万円

通期計画
進捗率56.2%

過去最高

粗利益

14,325 百万円

前年同期比
+14.3%

過去最高

営業利益

7,175 百万円

通期計画
進捗率65.2%

過去最高

EBITDA

8,920 百万円

通期計画
進捗率60.7%

過去最高

経常利益

7,859 百万円

通期計画
進捗率71.4%

過去最高

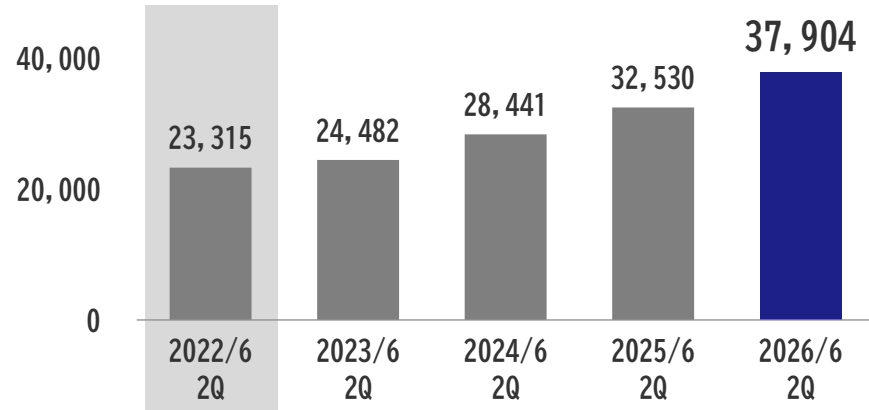
中間純利益

5,406 百万円

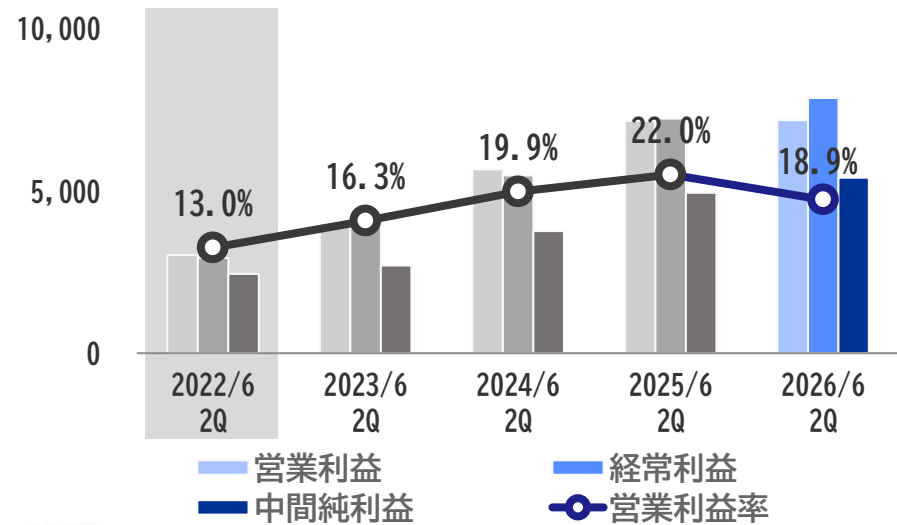
通期計画
進捗率71.1%

連結決算サマリ

売上高



利益

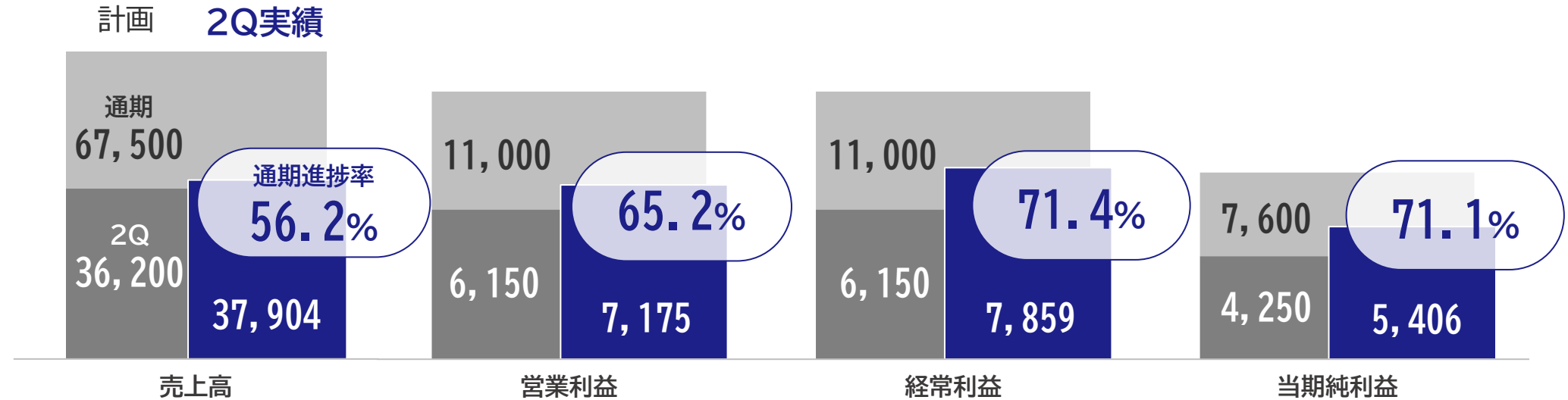


	2025年6月期 2Q		2026年6月期 2Q		
	実績	売上比	実績	売上比	増減率
売上高	32,530	—	37,904	—	16.5 %
営業利益	7,152	22.0 %	7,175	18.9 %	0.3 %
E B I T D A	8,800	27.1 %	8,920	23.5 %	1.4 %
減価償却費	1,648	5.1 %	1,744	4.6 %	5.9 %
経常利益	7,224	22.2 %	7,859	20.7 %	8.8 %
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,939	15.2 %	5,406	14.3 %	9.4 %



※決算期変更により、2022/6期 第2四半期(中間期)の業績の期間は12/21～3/20です。

計画と実績値との比較



2026年6月期	2Q実績	2Q計画		通期計画	
		金額	達成率	金額	進捗率
売上高	37,904	36,200	104.7 %	67,500	56.2 %
営業利益	7,175	6,150	116.7 %	11,000	65.2 %
E B I T D A	8,920	8,000	111.5 %	14,700	60.7 %
経常利益	7,859	6,150	127.8 %	11,000	71.4 %
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	5,406	4,250	127.2 %	7,600	71.1 %

※ E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

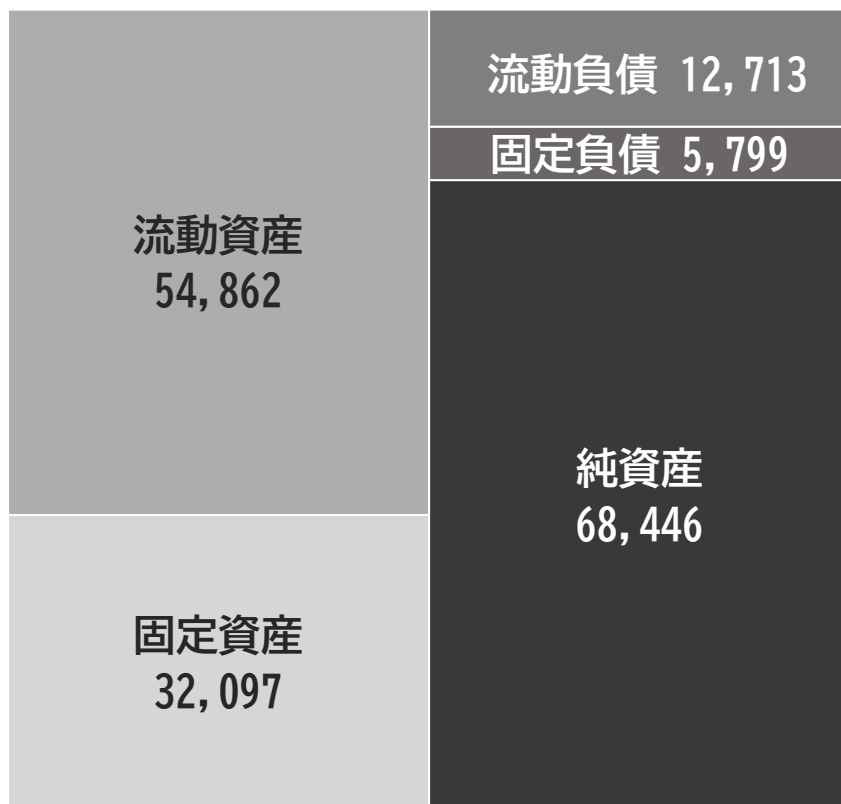
営業利益の増減要因



財政状態

(単位:百万円)

総資産 86,959百万円

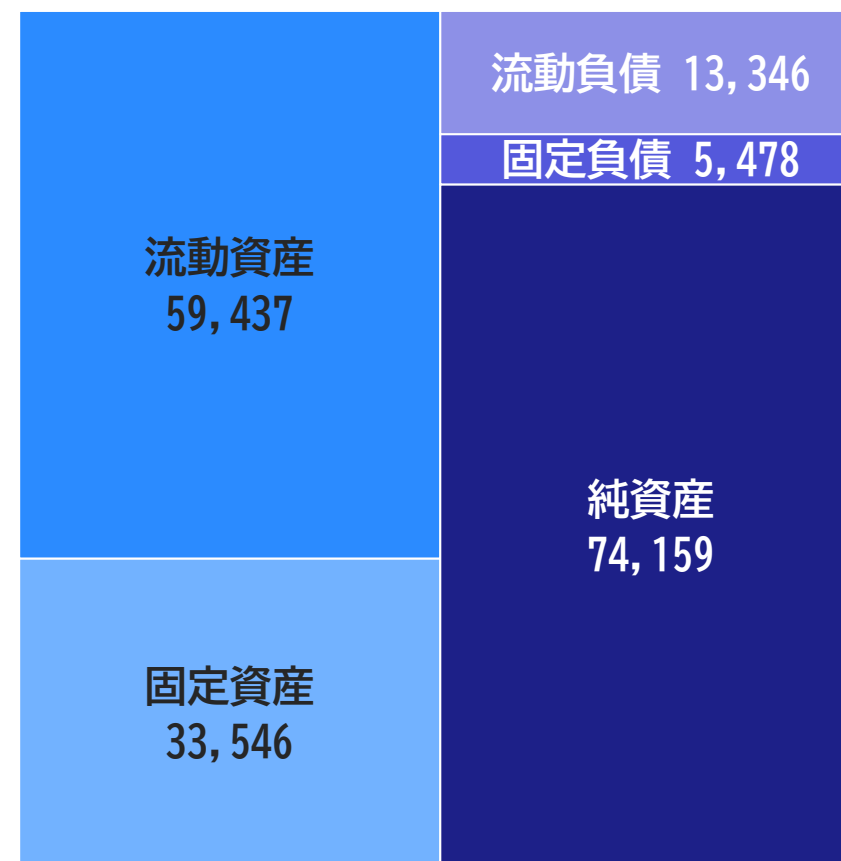


資産

負債・純資産

2025/6 期末

総資産 92,984百万円

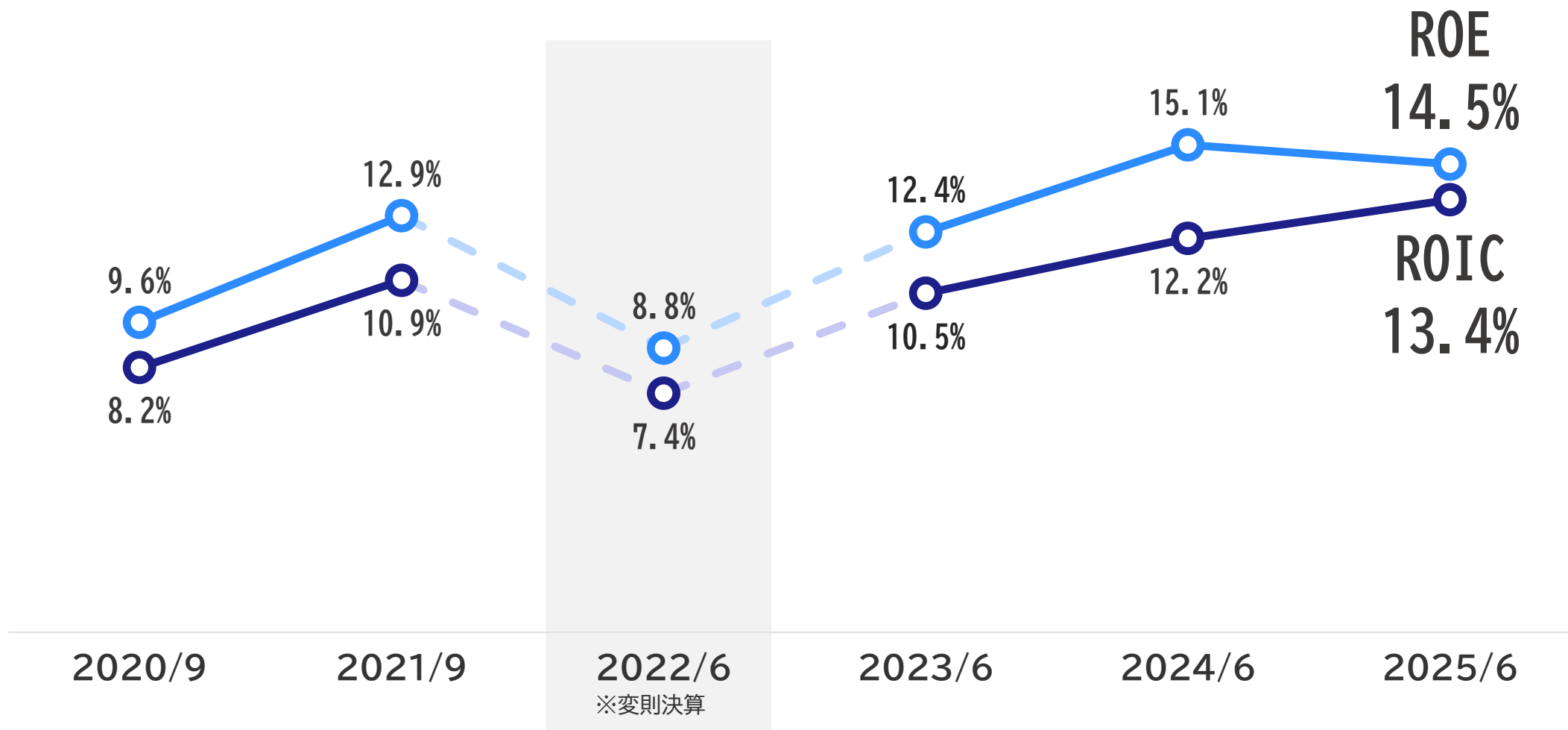


資産

負債・純資産

2026/6 2Q末

経営指標 – ROE・ROIC推移



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。



2

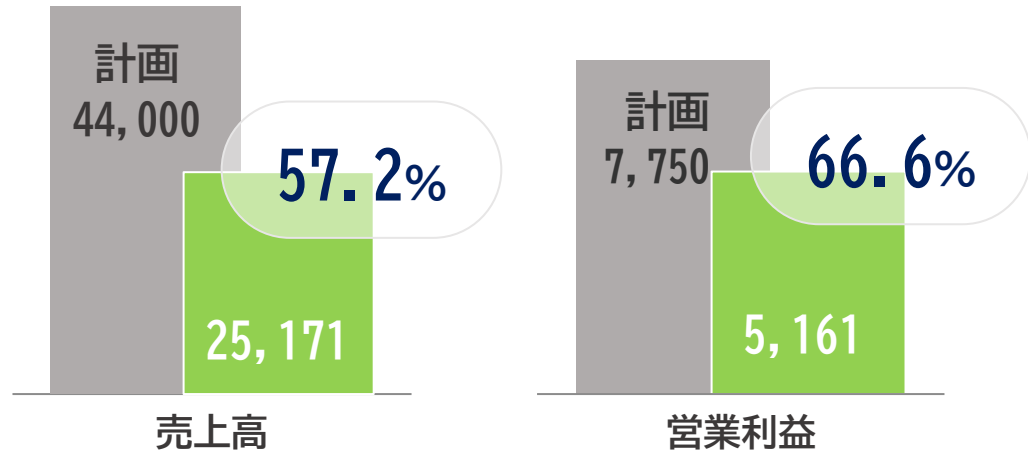
セグメント別決算概要

セグメント別決算概要

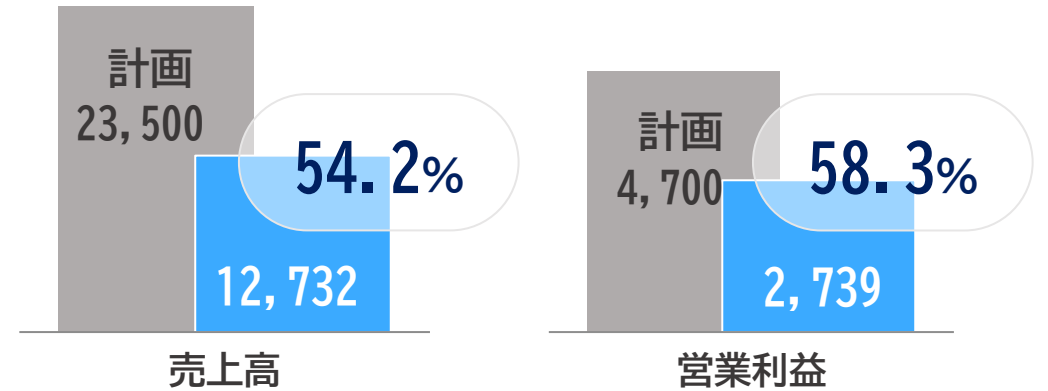
		2025年6月期 2Q			2026年6月期 2Q			
		実績	営業利益率	構成比	実績	営業利益率	構成比	増減率
売上高	ソーシャル インフラ事業	18,770		57.7%	25,171		66.4%	34.1%
	インダストリー インフラ事業	13,759		42.3%	12,732		33.6%	△ 7.5%
	合 計	32,530		100.0%	37,904		100.0%	16.5%
営業利益	ソーシャル インフラ事業	4,418	23.5%	56.5%	5,161	20.5%	65.3%	16.8%
	インダストリー インフラ事業	3,399	24.7%	43.5%	2,739	21.5%	34.7%	△19.4%
	小 計	7,818	—	100.0%	7,901	—	100.0%	1.1%
	全 社 ・ 消 去	△ 665	—	—	△ 725	—	—	—
	合 計	7,152	22.0%	—	7,175	18.9%	—	0.3%

セグメント別計画に対する進捗率

ソーシャルインフラ事業



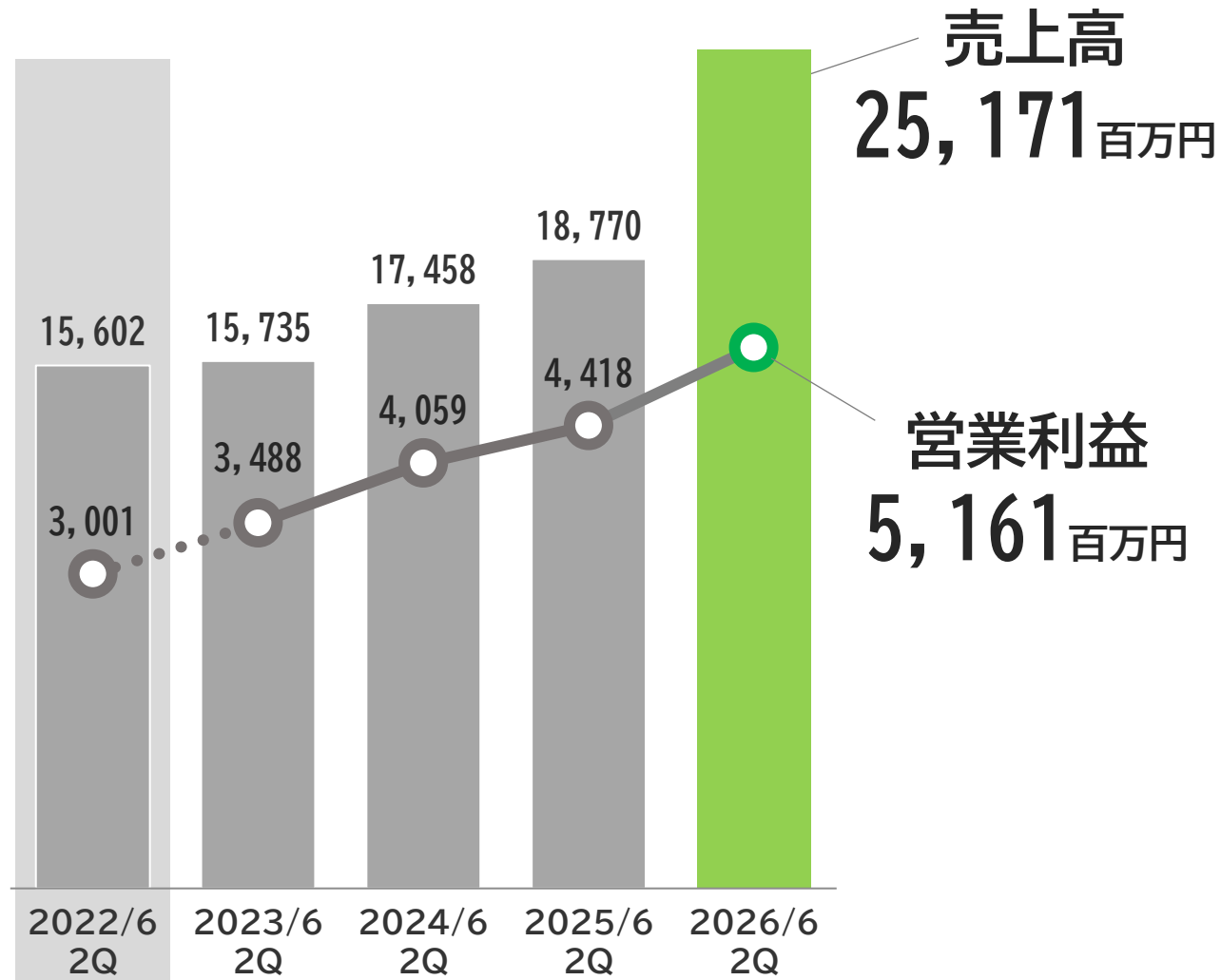
インダストリーインフラ事業



2026年6月期

2026年6月期		売上高	2Q実績	計画(通期)		営業利益	2Q実績	計画(通期)	
			金額	進捗率	金額		進捗率		
ソーシャルインフラ事業			25,171	44,000	57.2 %		5,161	7,750	66.6 %
インダストリーインフラ事業			12,732	23,500	54.2 %		2,739	4,700	58.3 %
全社・消去							△725	△1,450	—
合計			37,904	67,500	56.2 %		7,175	11,000	65.2 %

セグメント別業績概況－ソーシャルインフラ事業



プラス要因

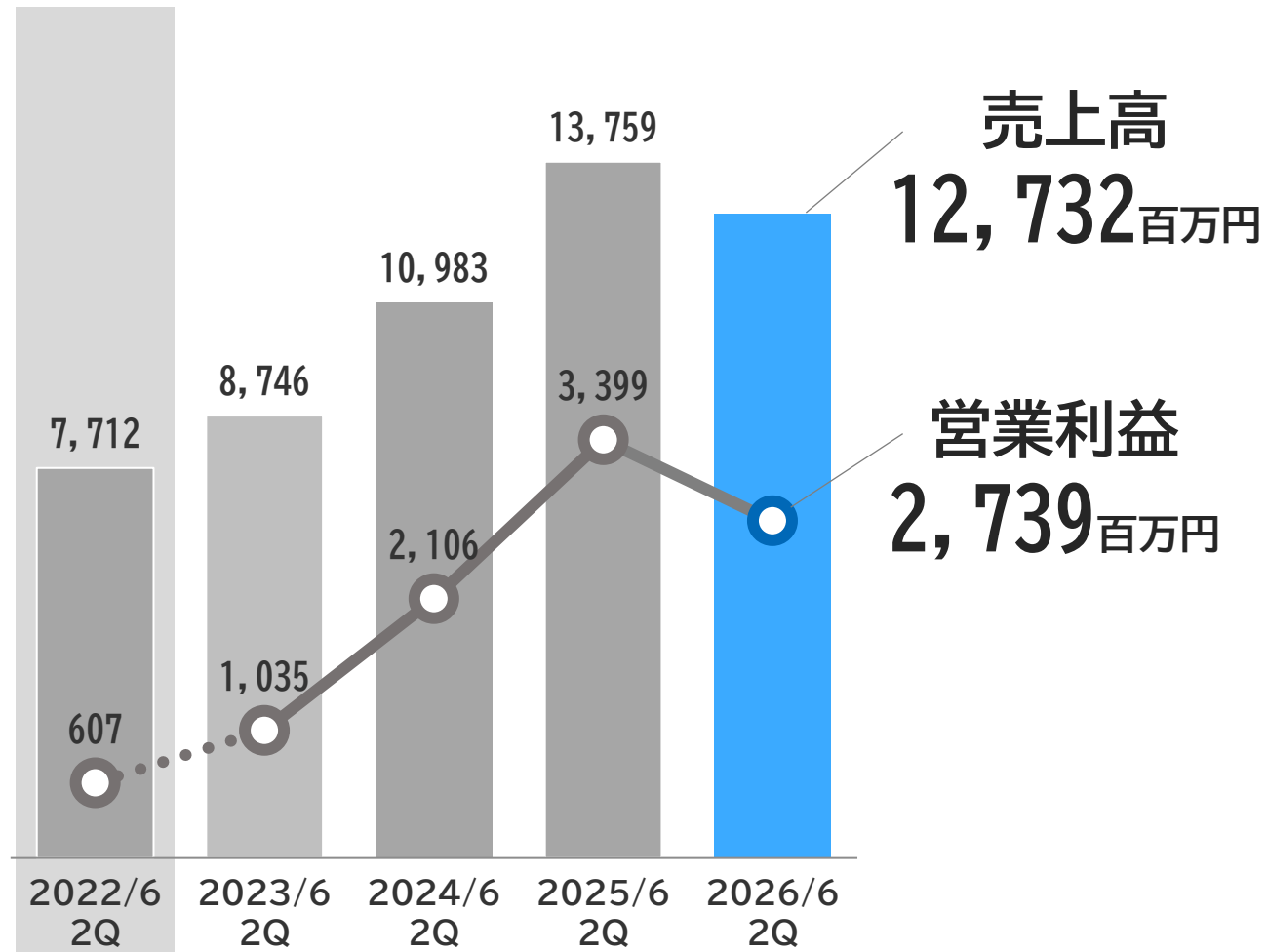
- 主力の土木資材事業の業績は、盛土補強材、構造物メンテナンス資材、河川・海洋等すべての分野において順調に推移した。
- 子会社各社の業績は概ね好調であり、前期にグループ化した前田工織産資、犀工房も業績向上に寄与した。

マイナス要因

- 土木資材事業は好調であったものの、第2四半期後半は売上高・利益とも伸び悩んだ。
- 子会社のうち釧路ハイミールは、単価低下等による売上減により、業績は低迷した。

※2022/6期 第2四半期（中間期）の業績の期間は12/21～3/20です。

セグメント別業績概況ーインダストリーインフラ事業



プラス要因

- BBS事業は、ほぼ計画通りに推移。
- 塗装ライン等の整備により生産キャパの増加を計画。(2026年秋に本格稼働予定)
- 未来コーセンは、半導体市況の回復を受けワイピングクロス事業が順調。

マイナス要因

- BBSドイツは、前期の大型案件の反動減により前年同期の実績を大きく下回ったが、ほぼ計画通りであった。

※2022/6期 第2四半期（中間期）の業績の期間は9/21～12/20です。

TOPICS – BBSジャパン スクーデリア・フェラーリHPと テクニカルパートナーシップ締結

- ・2026年シーズンより複数年契約のテクニカルパートナーシップ締結
- ・FIAフォーミュラ・ワン世界選手権(F1)スクーデリア・フェラーリHPに
マグネシウム鍛造ホイールを供給



**FERRARI
TECHNICAL
PARTNER**

3 2026年6月期 業績予想

2026年6月期 下半期の見込み

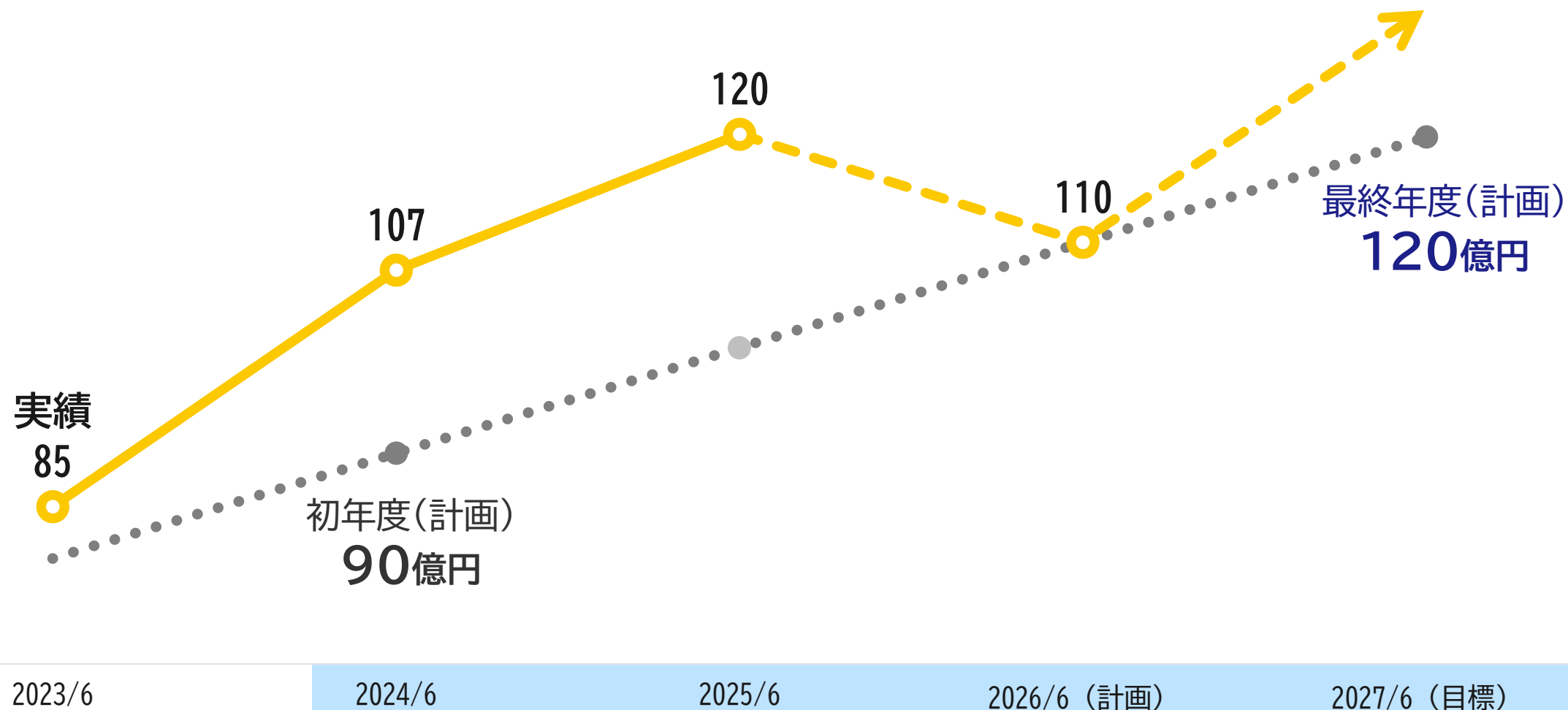
- 連結業績については、期初に設定した**通期目標をクリアする見込み**。
- ソーシャルインフラ事業のうち土木資材事業は、好調であった**上半期の反動（案件前倒し、製品ミックスの変化による利益率の低下）**を想定した目標とした。
- 各子会社の業績は、**ほぼ期初計画通りに推移**する見込みとした。
- インダストリーインフラ事業のうちBBS事業は、**前期までの大口受注の反動減**となったドイツ子会社の業績をBBSジャパンの業績でカバーすることで**通期目標を達成**する。

業績予想(連結)

	2025年6月期 実績		2026年6月期			
	2Q	通期	2Q実績		通期計画	
			金額	増減率	金額	増減率
売上高	32,530	64,108	37,904	16.5 %	67,500	5.3 %
営業利益	7,152	12,026	7,175	0.3 %	11,000	△8.5 %
E B I T D A	8,800	15,515	8,920	1.4 %	14,700	△5.3 %
経常利益	7,224	12,259	7,859	8.8 %	11,000	△10.3 %
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	4,939	9,489	5,406	9.4 %	7,600	△19.9 %

現在の中計における営業利益の推移と見込みについて

(単位:億円)



グローバルビジョン∞ -PART II-

業績予想(セグメント別)

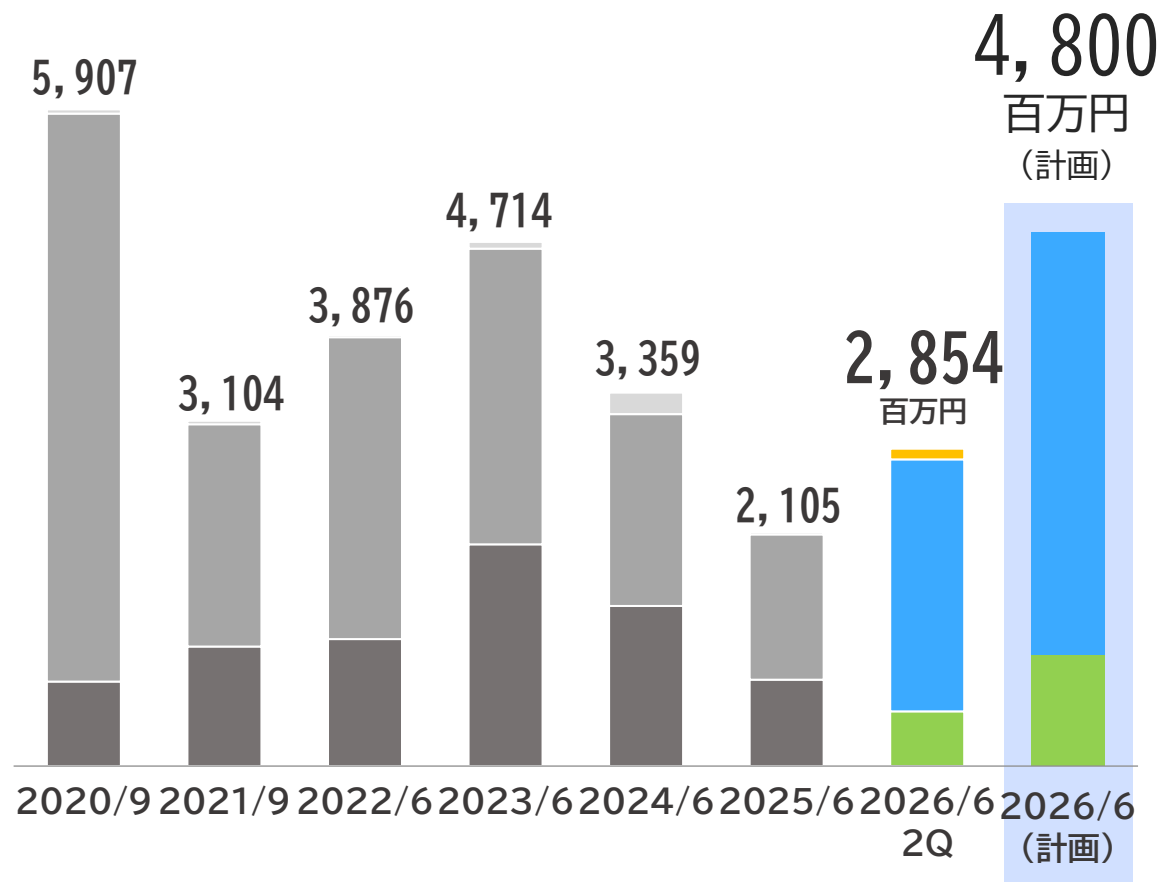
		2025年6月期 通期実績	2026年6月期	
			通期計画	増減率
ソーシャル インフラ事業	売上高	36,395	44,000	20.9%
	営業利益	7,355	7,750	5.4%
インダストリー インフラ事業	売上高	27,713	23,500	△15.2%
	営業利益	6,010	4,700	△21.8%
全社・消去	営業利益	△1,339	△1,450	—
合 計	売上高	64,108	67,500	5.3%
	営業利益	12,026	11,000	△8.5%

設備投資額・減価償却費予想

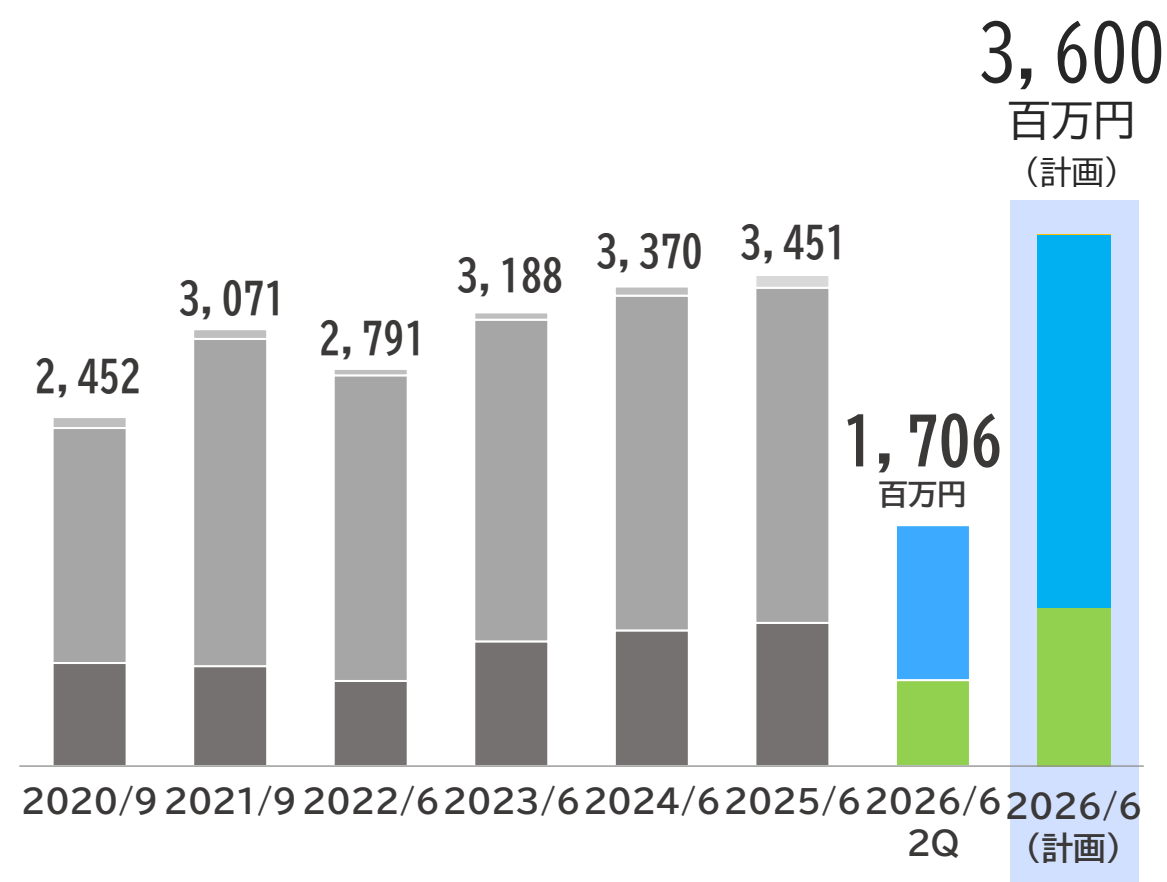
(単位:百万円)

■ ソーシャル
■ インフラ事業
■ インダストリー
■ インフラ事業
■ 全社

設備投資額

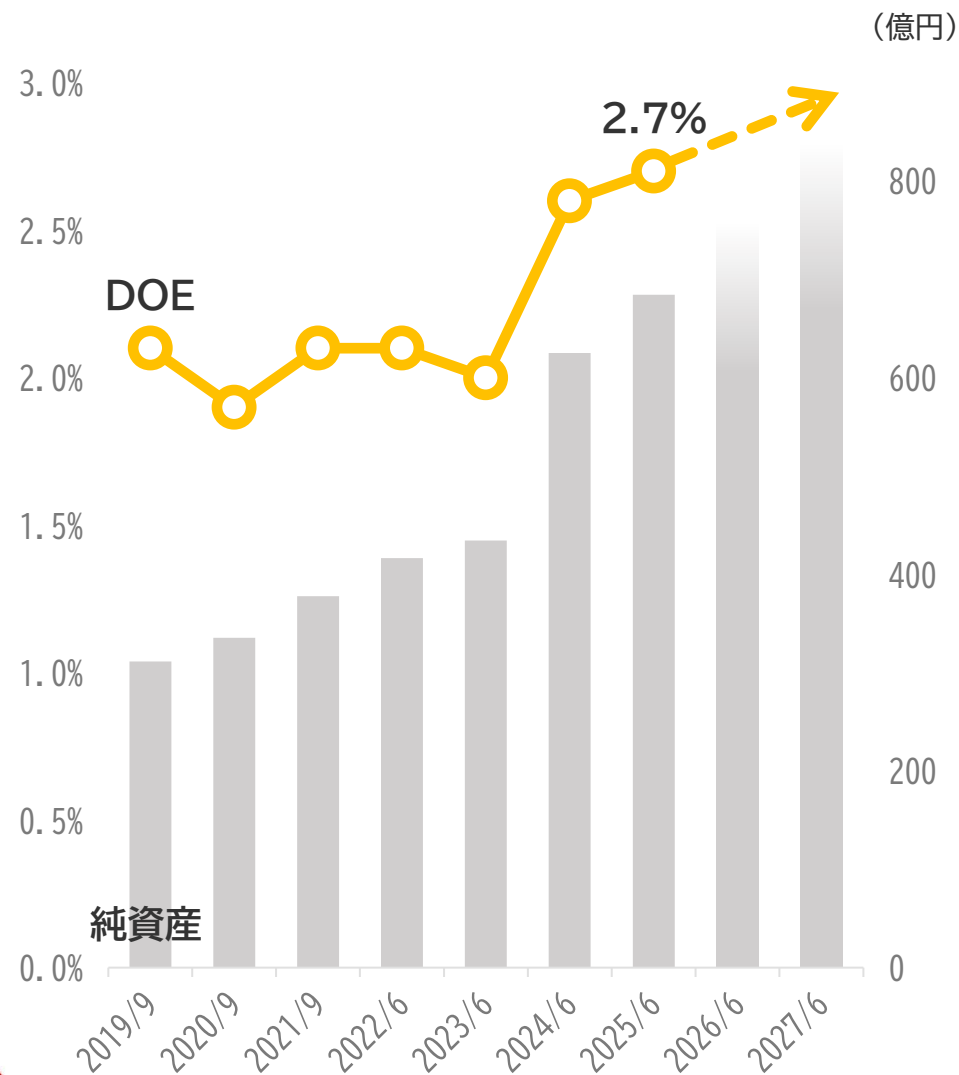


減価償却費



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

株主還元策に関する基本方針



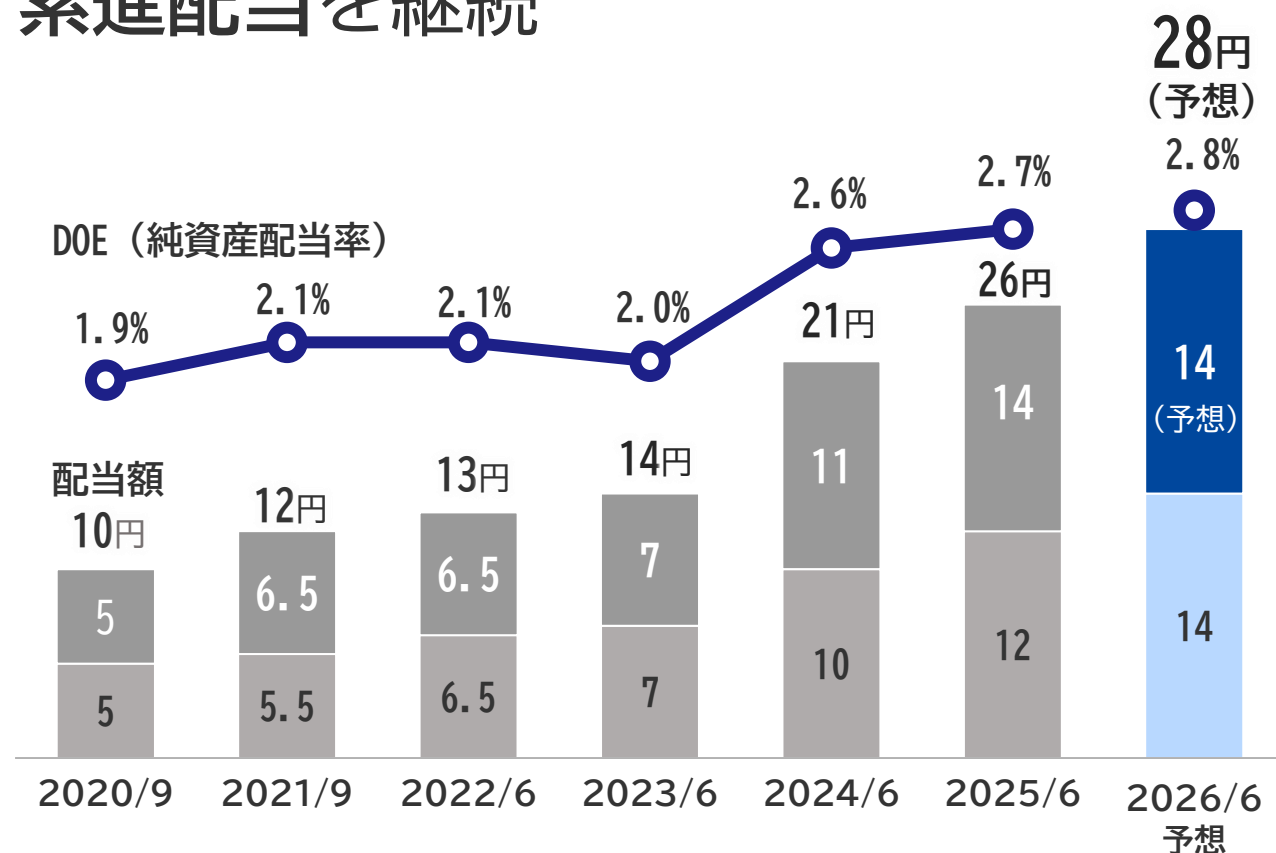
株主に対する利益還元
＝ 「経営の重要課題」の一つ

具体的な方針

- ① 累進配当の継続
上場以来、累進配当を実施
- ② 剰余金の配当率
DOE(純資産配当率)を主要指標とする
・・・当期純利益の変動が大きいため

配当政策

累進配当を継続



2026/6期

中間 14円（前年比＋2円）

期末予想 14円（前年比±0円）

通期予想 28円（前年比＋2円）

※1：2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。

※2：2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2024年6月期以前の配当額は、株式分割の影響を考慮して記載しております。

TOPICS－統合報告書2025発行



当社グループとして5回目の発行

Point

【当社の強みの訴求と人的資本の深掘り】

- ・独自のビジネスモデルの仕組みを明瞭化
- ・価値創造の源泉となるESG+Hの中でもH(人的資本)の取組みに関する情報開示を強化

統合報告書掲載ページ

<https://www.maedakosen.jp/ir/irlib/report/>



4

M&A戦略

M&Aの活用

中期経営計画「グローバルビジョン∞- PART II-」の4か年で
200億円のM&A投資枠を設定、M&Aの実現で成長を加速

M&A方針

Target 原則「モノづくり」の会社、特別な技術・製品がある会社

重点領域

既存事業の強化

既存事業同業

土木・建築資材、鳥獣害対策、園芸用ハウス、ブランド力を有する自動車部品

既存事業周辺

土木工事(法面、橋梁メンテナンス)、土木建築関連・農業関連資材、繊維関連製品

新規事業の創出

新規事業

ニッチトップ企業、官公庁関係向け事業、ヘルスケア、スポーツ、ペット用品

海外

土木・建築資材、ASEAN

PMI シンプルPMI

凡事徹底 × 「混ぜる」

- 生産現場の整理整頓・安全対策
- 適切な設備投資
- 継続的な生産改善活動
- 数値・成果の見える化
- 月次会議体制の整備
- 経営人材の提供

親子関係ではなく
対等なパートナー
として協力関係
を構築

グループの
人、モノづくり、
技術、ネットワーク
を「混ぜる」



※PMI：M&A後の統合プロセス

M&Aに対する考え方

前田工織のM&A

背景

オンリーワンの技術や製品、優秀な人材を有しながらも成長軌道を描くことが難しい地方企業が多く存在



社会課題 の解決

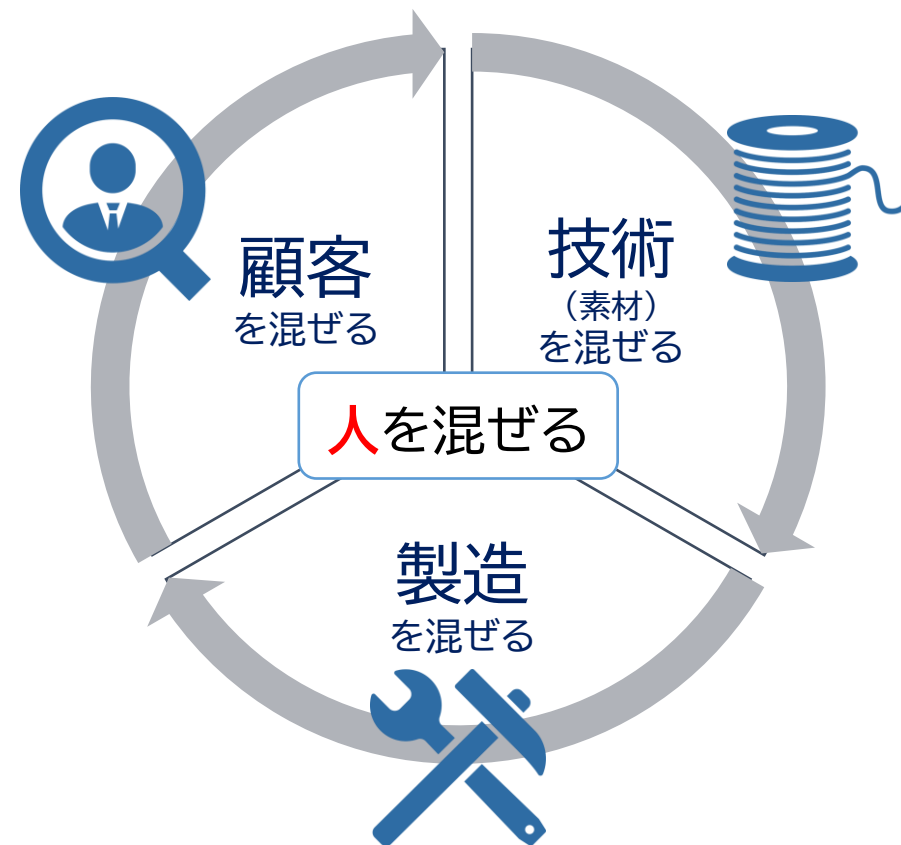
- ✓ モノづくり企業とのM&A
顧客・技術・製造といった経営資源を「混ぜて」成長に導く
- ✓ M&A実施後も雇用を維持
相互にWin-Winの関係を築き、**地方の活性化**に貢献

変化が激しく、不確実性の高い経営環境のなか
継続的なM&Aで多様な事業を展開



前田工織グループの企業価値向上に向けた
コングロマリットプレミアム を実現

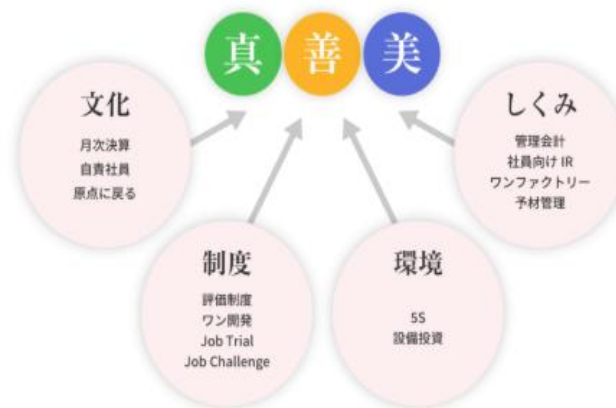
「混ぜる」M&A



Webサイトに「M&A」ページを開設

当社の成長戦略の1つである
「M&A」についてわかりやすくご紹介

- ・なぜM&Aなのか
- ・選定基準と検討プロセス
- ・前田工織のシンプルPMI



<https://www.maedakosen.jp/ma/>



M&A実績

	取得年	会社名		取得年	会社名		取得年	会社名
1	2002年	太田工業 ※前田工織に合併	8	2013年	ワシ興産、ワシマイヤー ※現 BBSジャパン	15	2021年	セブンケミカル
2	2004年	ゼオン環境資材 ※前田工織が事業譲受け	9	2014年	ダイイチ ※未来コーセンに合併	16	2024年	犀工房
3	2005年	日本不織布 ※日本不織布が事業譲受け、前田工織に合併	10	2015年	オガワテクノ ※未来テクノが事業譲受け	17	2025年	三井化学産資 ※現 前田工織産資
4	2009年	サングリーン ※前田工織に合併	11	2016年	グリーンシステム ※未来のアグリに合併			
5	2009年	マグネ ※前田工織に合併	12	2018年	釧路ハイミール			
6	2011年	北原電牧 ※現 未来のアグリ	13	2019年	沖縄コーセン ※会社設立			
7	2012年	テクノス ※現 未来コーセン	14	2021年	エスケー電気工業 ※現 未来のアグリ			

M&A事例 BBSジャパン

大型設備投資

国内最大となる
1万2,000トンプレス機導入



塗装工場を新設 空間全体をクリーンルーム化



最新のロボットを導入し 生産ラインの省人化



塗装ラインの 無人自動化を推進



M&A事例 セブンケミカル

事務所棟の改修

事務所棟と技術棟を改修し1棟に



業務改善

基幹システム

市販ソフトウェアによる
自社単独の売上管理



グループ共通基幹システム
導入による迅速な売上集計

人事管理システム

給与計算の業務委託
による連携ミス



給与計算の内製化で
業務効率向上

設備投資

業務担当者の経験を基準に
計画性のない設備投資



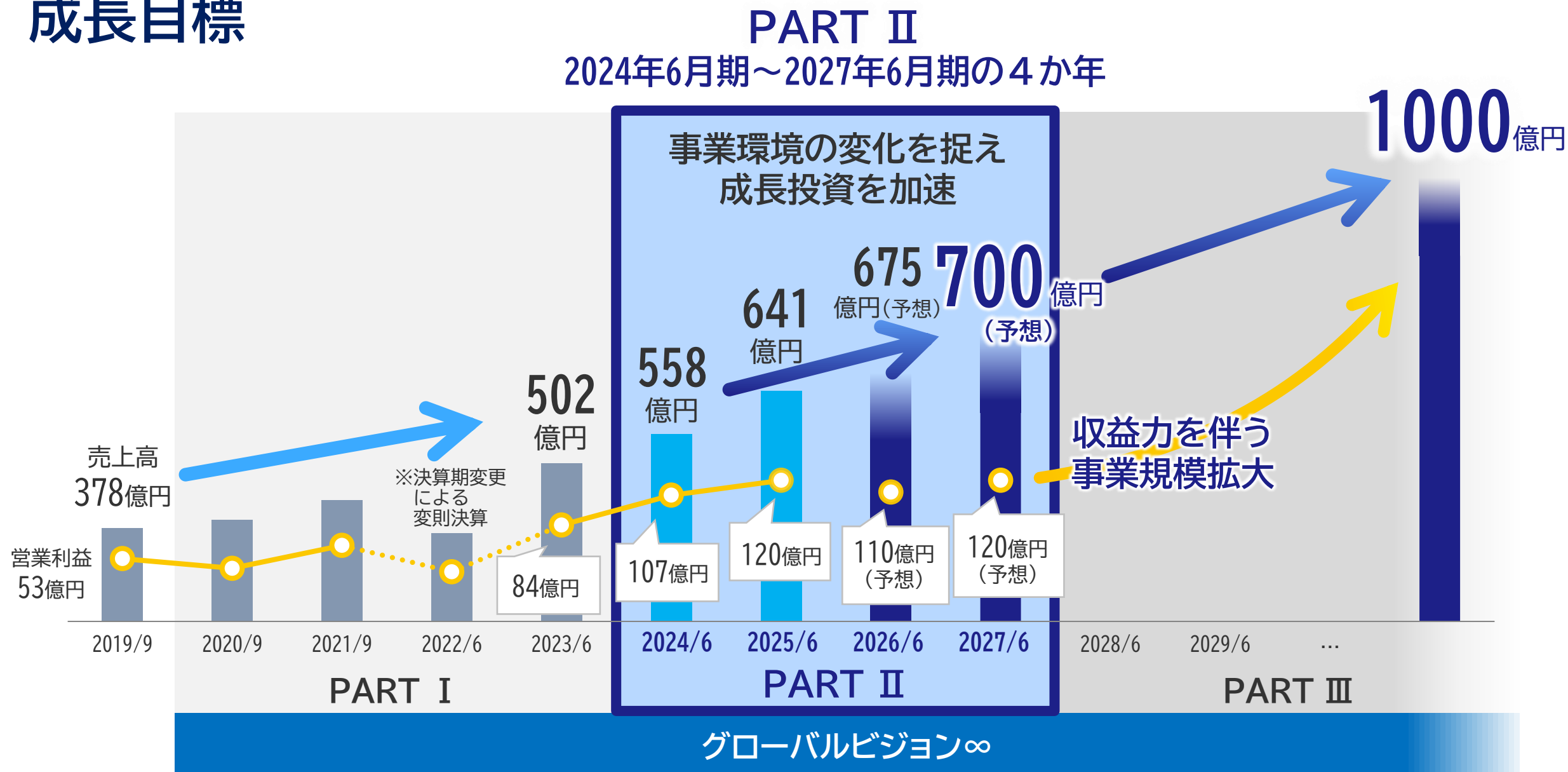
計画的・効率的な
設備投資



5

MDKグループ中長期ビジョン
グローバルビジョン∞
- PART II -

成長目標



主要戦略

グローバルビジョン∞ 主要戦略(概要)



既存事業の強化と
新規事業進出

設備投資計画 150億円
(4年間合計)



M&A活用による
事業領域拡大

M & A 投資枠 200億円
(4年間合計)



グローバル
ネットワーク拡充

海外売上比率 30%
(2027年度目標)



ESG+H

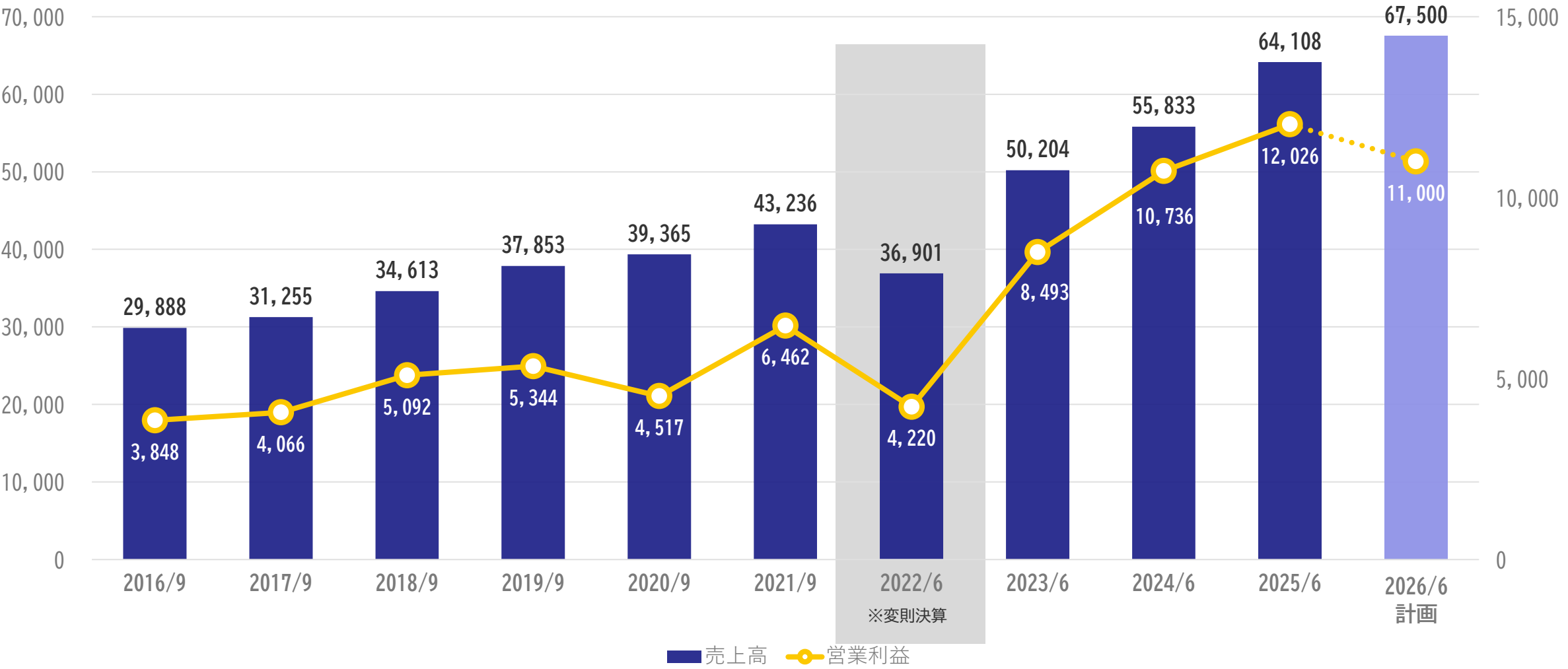
- 太陽光発電利用拡大
- エンゲージメント強化

数値目標(2024年6月期～2027年6月期)

	2023年6月期 (PART I) 実績	2024年6月期 実績	2025年6月期 実績	2026年6月期 計画	2027年6月期 計画
売 上 高	502 億円	558 億円	641 億円	675 億円	700 億円
営 業 利 益	84 億円	107 億円	120 億円	110 億円	120 億円
E B I T D A	116 億円	141 億円	155 億円	147 億円	150 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	52 億円	79 億円	94 億円	76 億円	80 億円
R O E	12.4 %	15.1 %	14.5 %	10.7 %	12 %以上

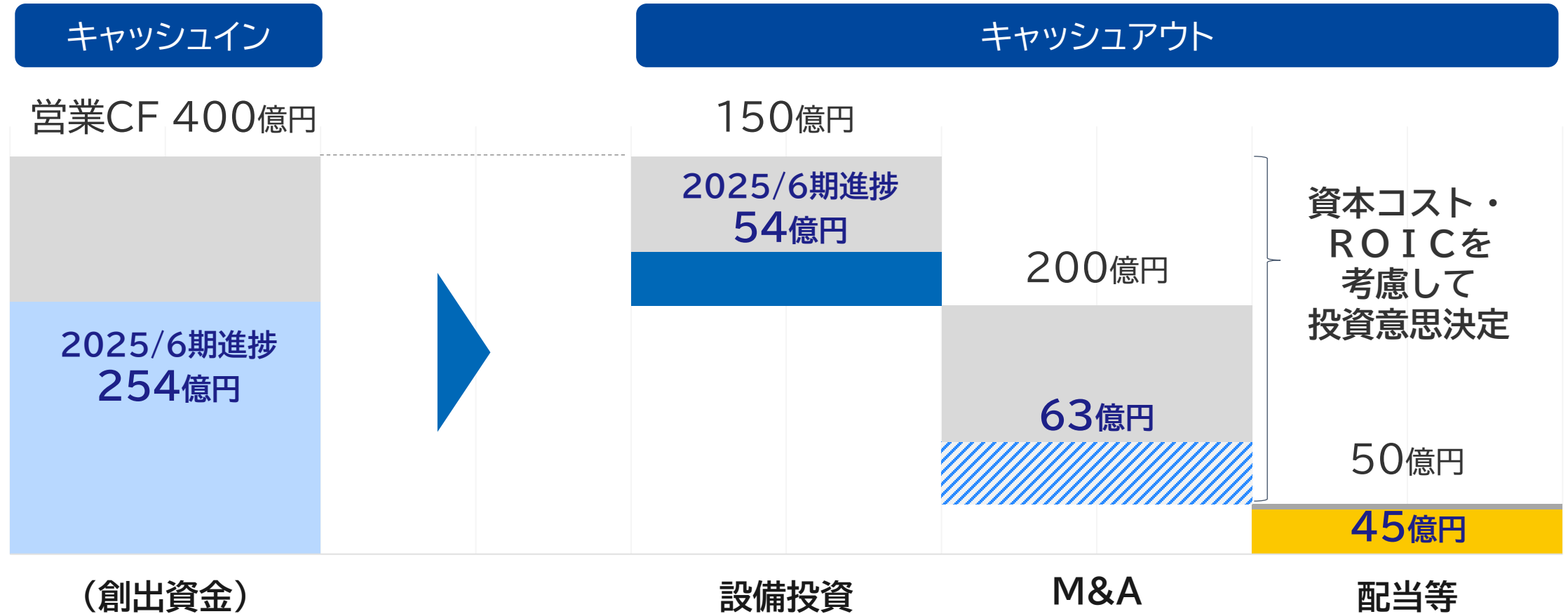
(単位:百万円)

連結業績推移(売上高・営業利益)

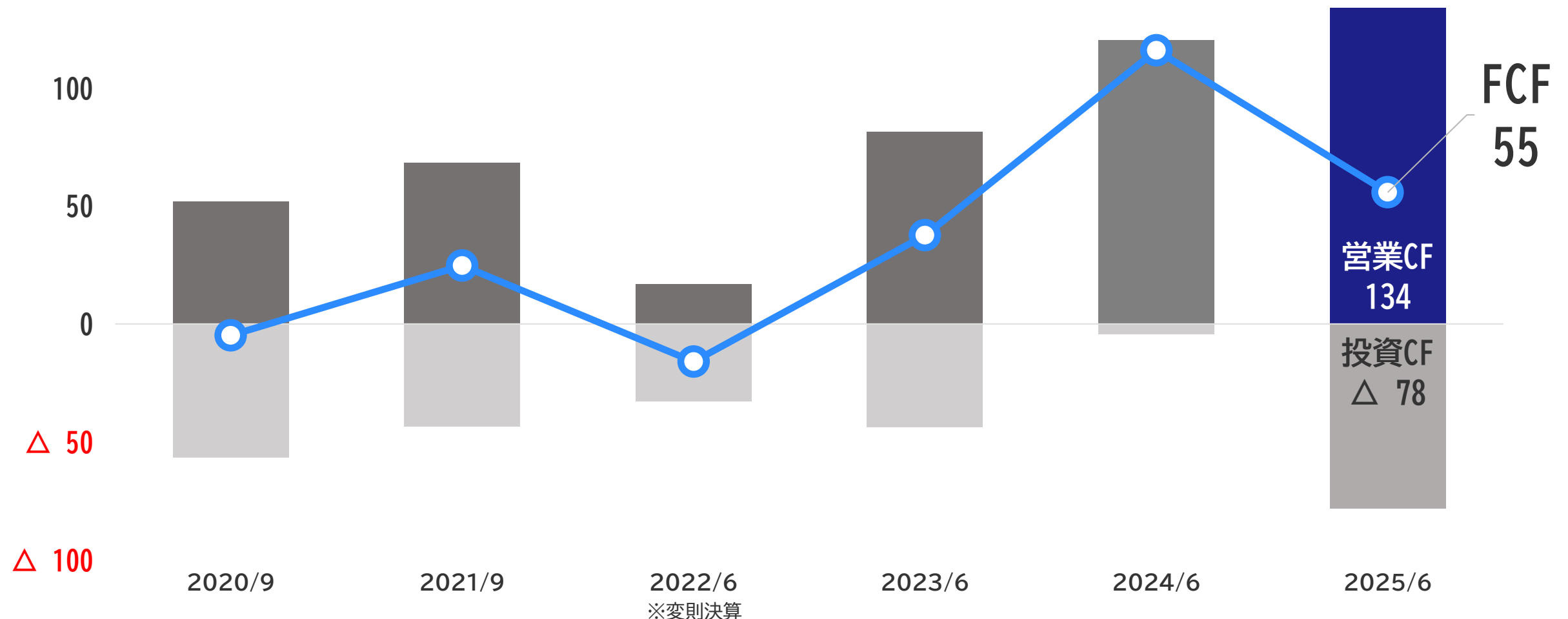


キャッシュアロケーション

中計PART-Ⅱ-期間(2024年6月期～2027年6月期)合計額(見込み)に対する進捗



フリーキャッシュ・フロー(FCF)推移



※フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー－投資活動によるキャッシュ・フロー
※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。



6

会社概要

企業情報

(2025年12月31日現在)

会 社 名	前田工織株式会社		
本 社	福井本社: 福井県坂井市春江町沖布目38-3 東京本社: 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F		
代 表 者 名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏		
創 業	1918年	設 立	1972年
決 算	6月30日	資 本 金	6,422百万円
従 業 員 数	1,822人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)		
発行済株式数	68,080,612株 (うち自己株式 892,775株)		
証 券 コード	7821(東京証券取引所プライム市場)		
単 元 株 数	100株	株 主 総 数	5,999名

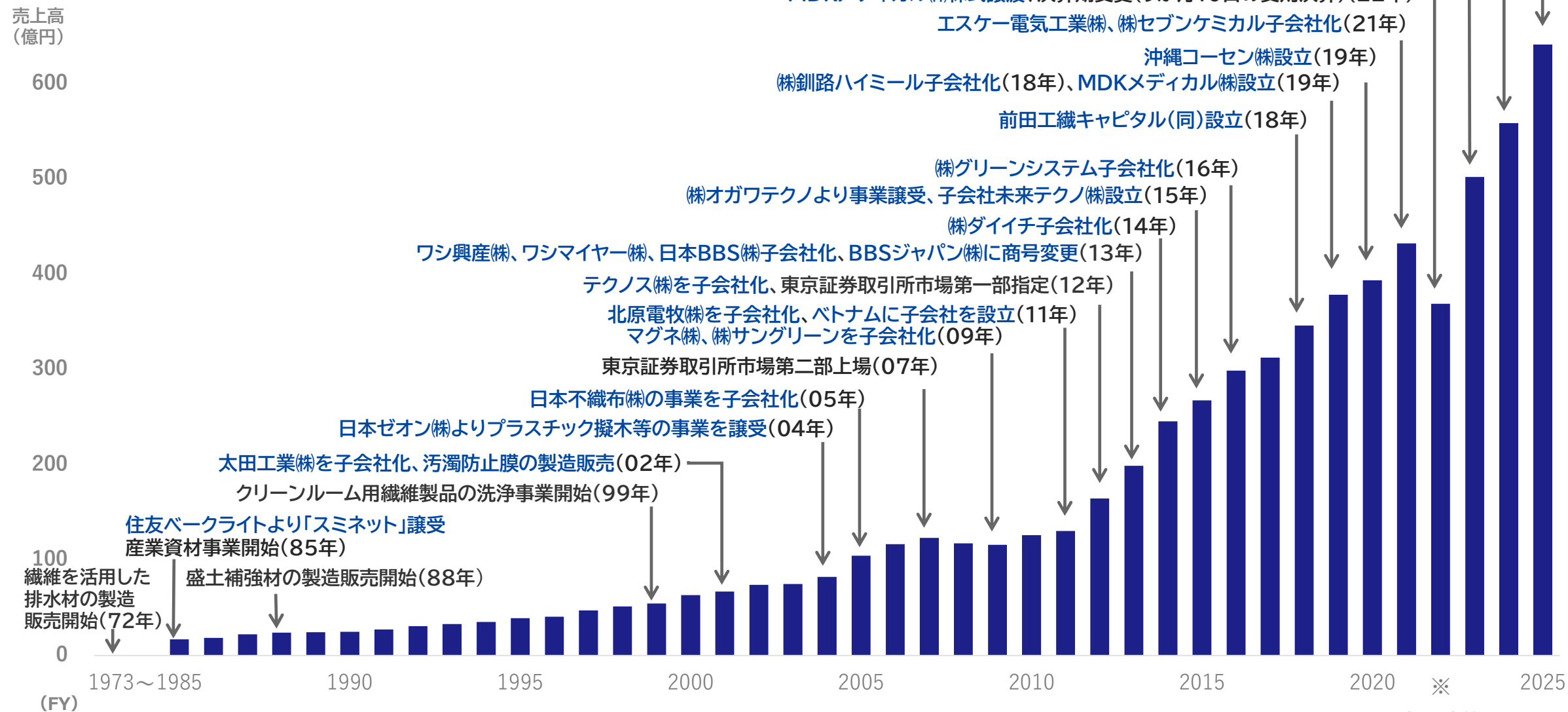


福井本社



東京本社

事業沿革と売上高推移



変則決算

グループネットワーク

前田工織(単体) 事業所:14拠点/工場:5ヶ所

福井県

福井本社・本社工場

丸岡工場
坂井工場

未来コーセン
本社・福井工場
武生工場

北陸(福井除く)

新潟営業所
金沢営業所

BBSジャパン
本社・高岡工場
四日市工場

未来コーセン(株)
金沢工場

北海道

札幌支店

未来のアグリ
札幌本社
千歳工場
釧路ハイミール 本社

東北

仙台支店
盛岡営業所

未来テクノ
水沢工場・胆沢工場
未来のアグリ
福島本社・瀬上工場

関東

東京本社

前田工織産資

本社
埼玉事業所

未来テクノ 東京本社

セブンケミカル
本社
埼玉工場

BBSジャパン 東京本社

前田工織キャピタル合同会社 東京本社

九州・沖縄

福岡支店
鹿児島事務所

沖縄コーセン

中国・四国

広島支店
岡山事務所
四国支店

中部・近畿

名古屋支店
大阪支店
西宮工場
能登川工場
犀工房 本社

ドイツ

ハスラッハ

ベトナム

バクニン省

BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株) ドイツ子会社



MAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.
(前田工織ベトナム有限会社)



● 事業所
■ 工場



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 経営管理本部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>